

「牧野市長」次期立候補を決意！

＝飯田は、リニアで人口減少に歯止めを掛けられる＝

牧野市長は、2月25日の市議会冒頭のあいさつで次期立候補を表明しました。

4期15年余を振り返り、「様々な取組において実績を積み上げられたのは、まさに議会の皆さん方のご理解・お支えあってこそ、職員の皆さんの弛まざる努力あってこそ、そしてそれぞれのお立場でご尽力いただいている市民の皆さんあってこそ」と感謝の言葉につづけて「飯田の将来はリニアへの対応に懸かっている」とし、「飯田であればリニア時代に人口減少に歯止めをかけることはできる」との絵姿を示し、「これまで市民の皆さんのお支えにより、得難い経験や様々な知見、そして多様な人的ネットワークを幅広く蓄積させていただいた私といたしましては、もう少しで手が届くところまで来ているリニア時代の飯田の絵姿を確たるものにするため、次期に向けての決意を固めさせていただきました。」と立候補の表明をいたしました。



牧野市長の決意

日本全国が、人口減少、少子化・高齢化の右肩下がり時代にある訳ですが、その状況は今の飯田市においても例外ではありません。しかしながら、私はそうした状況をこの飯田においては変えていくことができるといように考えております。

特にこのリニア時代においては、飯田の持っている地域の力を最大限に引き出し、私がこれまで築いてまいりました地域内外におけます人的ネットワーク、あるいは様々な知見や経験、こういったものをフル活用する中で、外からの力、国や県あるいはJR東海はじめ様々な外からの力もこの飯田の地域に引き入れていく、そうした中で人口減少に歯止めを掛け、この地域で安心して子育てから、健康・長寿の魅力的な生活を送っていける。そうした飯田の絵姿を実現できると確信をしています。

その為には、どうしても千年に一度とよく称されるこの一大事業であるリニアを確実に軌道に乗せていくことが重要と考えています。これまで経験したことがない、そうした大きな事業を何とか軌道に乗せていくことが必要です。

これまで市民の皆さんのお支えにより、得難い経験や様々な知見、そして多様な人的ネットワークを幅広く蓄積させていただいた私といたしましては、もう少しで手が届くところまで来ているリニア時代の飯田の絵姿を確たるものにするため、次期に向けての決意を固めさせていただきました。

残りの任期を全力で全うし、その後、市民の皆さんのご支持をいただくことができれば、次期においても全身全霊を捧げて市政経営に尽くす覚悟です。

「立候補表明の記者会見」を開催

＝リニアを軌道に乗せるのは「私がやるしかない」＝

「牧野みつお後援会」は、牧野市長の議会での立候補表明を受けて、同日（25日）の正午から後援会役員の立会のもとに記者会見を開きました。

冒頭、牧野市長から「市民の皆さん方のご支持を得られますれば、次期におきましても全身全霊を捧げて頑張らせていただく覚悟であります。」との決意が語られた後、集まった記者の皆さんからの質問に答えられました。



◇市長が出馬への意向を固められた時期は？

1月下旬の後援会新年総会において、それぞれの皆さん方から次期についてのご期待をいただきました。その時には「今少し、自らの覚悟をしっかりと問いたい」ということで、その返事につきましては留保させていただきましたが、予算編成を経る中で、やはりこの地域の立ち位置、飯田の立ち位置というものを再確認し、これから任期を全うしていく中で、あと少しというところまでは行けるというふうに思う訳ですが、何とか軌道に乗せるまでには、もう少し時間が必要であるということを感じてしまし、次期への決意表明を固めたというものでございます。

◇今度は5期目ですが、多選批判が当然出ると思うが？

当然、私自身もそういったお声は、いろんなところからも頂戴しているところでございます。ただ、今の飯田の立ち位置というのは、通常の他の市とはやはりかなり違う状況にあるということはしっかりと訴えていく必要があるかと思えます。

リニアという、これだけの一大事業が控えている中で、特に私の場合は、JR東海が平成19年度に今のリニア計画を打ち上げて以来ずっとこの事業に携わってきており、様々な経験をしているところでございます。

もう本当に苦勞してここまで来たというところがある訳ではありますが、その積み重ねというものを「ここで投げ出すようなことはできない」というふうに考えておきまして、何としてもここはしっかりと軌道に乗せていく。そこについての自分の中での覚悟というものを掲げさせてもらったというものであります。

◇この時期に立候補の表明をした理由は？（対抗馬の報道がされているがその関係は）

特に何時ってということに対して、あまり考えてのことではございません。自らの気持ちを固めて行くっていうのは、いろんな皆さん方の声を聞いたり、あるいは今、飯田市がどんな状況に置かれているのかということに寄るところです。

今の飯田市の状況というのは、非常に大きな変化の中にあるところで、そうした中で、自分自身の気持ちをなるべく早く固めていくことが、飯田市全体がそうした変化への対応をできていく、言ってみればそういうことをしっかりと市民の皆さん方に訴えていくことができる、そういったお時間をいただくことになるのかなと思っております。

対抗馬のお話をいただきましたが、それは無いです。今がどんな時期なのか、そして飯田市としてどういうことをしていかなければいけないのか、私自身ができることは何なのか、そういうことをしっかりと訴えていく、やはりある程度の時間が必要ということ意識しております。

◇過去に5期就任した市長はいないが、5期ということについては？

最近、県内でも5期務められている市長さんも出て来ている訳ですが、かなりそれこそ右肩下がりになる前の時期とは様相が異なっているっていう感じがします。

右肩上がりの時期、ある程度、将来に向けての希望的な観測ができた時においては、ある程度したら次へバトンタッチっていうことをスムーズにやっていくことができた時期だと私自身は思います。それが今のような右肩下がりの状況になってきている中では、なかなかそういったバトンタッチのタイミングっていうのは、より慎重に判断がされなければいけなくなっています。

ましてや飯田市の場合、他の市と違いまして、正に一大事業をこれからどういう形でここで軌道に乗せていけるかどうかということが問われている。で、その先にあるこの飯田の絵姿というのは、私は正に人口減少に歯止めを掛けるという「右肩下がりの時代であってもここならできるんだ」という、そうしたものを実現していくことこそが必要だということを考えたときに、今までの歴代の市長とは違ったスタンスを取らざるを得ないというふうに考えたところであります。

◇リニア代替地の一部の方に「地元のきちんと合意が取れないまま、絵図だけが先行している」という話があるが、住民の方への対応を今後どうするのか？

これからもそういったひとつひとつの案件については、丁寧に寄り添った対応をしていきたいというのが基本的な考え方です。

そういったお声があるということであれば、勿論、そういったことに対しては、きちんとお詫びを申し上げ、またご理解を得るような説明を重ねていくことが必要だというふうに思っています。



◇リニア開通まで7年あるが、6期目は？

三遠南信自動車道、あれはもう私の中では決着がついていると思っています。あとは予算がちゃんとついて順調に工事が進めば、全通は多分行けるだろう。私はそういったことに対して別に自分でなければという思いはない訳です。大橋の時はありました。

大橋の時、架かるか架からないかで大変あのときは苦労をしましたから。だけど、正に今そういった状況にあるのがリニアなんです。水面下のいろんな交渉も含めてこれからいろいろやらなくてはいけないという思いがあるので、そういう状況にあるというしか申し上げ様がないんですが、そこはやっぱり「もう自分がやるしかないんだ」という思いを持っているわけです。

だから、リニアが軌道に乗れば、別にその後はその時の状況で「やっていただける方が居るのであれば、それは」っていう話を別に否定する者ではないです。

◇リニアという特殊事情の中で大変厳しい市政運営となると思うが、あえてもう4年の覚悟は？

基本的には、今の状況で仮にもう、私が「それじゃあ」って言ったとしても、それはもう投げ出しに等しいというのが自分自身に対する思いです。

例えば三遠南信自動車道も天龍峡大橋が架かるか架からないかみたいなところを乗り越えて来て、三遠南信自動車道は軌道に乗せられました。けどリニアはまだ軌道には乗っていない。これからなんです。それができなければ将来の飯田の絵姿っていうものを確固たるものにはできない。今、そういう時期なんです。これはもう私の任期なんか関係ありませんから。要はリニアの今のそのタイミングがそうになっているんです。

「それをやれる人間は誰だ」ということを考えたときに、じゃあ他の人に「お願いね」って言えるかといったら、それはやはり無理だ。「もう私がやるしかない。」そういう思いです。

事業を何とか軌道に乗せて、それで飯田の絵姿をその先に描けるようにさせる為には、もう自分で行くしか無いという。それはもう今までずっと積み上げてきました。そういったことを他にやってきた人が居るかって言ったら居ない訳です。例えばJR東海との交渉とか、そういうのはずっと前面に立ってやってきていますから。だから厳しいです。厳しいんだけど、だから自分自身にずっと問うていた訳です。どうしたら良いんだろうと。何だけれど、やっぱり自分でもうここは何としても決着されるんだという、そういった思いを固めさせてもらいました。

☆ 記者会見の記録を作成しました。ご希望の方は、後援会事務局までご連絡をお願いします。

郵送にてお届けさせていただきます。

事業予定

3月	第2回役員会
4月	第1回支部長会
6.21	後援会マレット大会
8月	後援会ゴルフ大会
10月	飯田市長選挙

編集後記

牧野市長さんが立候補表明をされました。
記者会見で「今日まで手がけてきた私にはリニアを軌道に乗せる義務と責任がある」との想いを語られました。
その裏には、大変な決意と苦闘が滲み出ているように感じたのは私だけだったのでしょうか。この苦闘を少しでも和らげるために手をつないで頑張り合いたいものです。(は)